

各施設の長様

旭川市保健所長 鈴木 直己  
(健康推進課担当)

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症に係る発生状況について

日頃から、本市の保健衛生行政に御理解と御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

市内の医療機関より、多剤耐性菌の一つである「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（以下「CRE感染症」という。）」の発生が確認されており、令和4年は、過去5年で最多の届出数となっております。

CRE感染症は、治療において最も重要な抗菌薬に対して耐性を持つ感染症であり、施設内での感染の原因になったり、健常者にも感染を起こすことがあります。

また、無症状で保菌している可能性もあり、感染症を引き起こすと治療が困難になり重篤化する場合もあることから、次の内容を確認し、施設内でのまん延防止について、御配慮くださいますようお願いいたします。

1 感染経路

主な感染経路は接触感染です。

保菌者と職員の手指を介した接触や器具、機材や汚染された環境を介した接触により、感染が広がります。

2 平時からの感染対策

(1) 手指衛生の徹底

石けんと流水による手洗いやアルコールによる手指消毒をしっかりと行いましょう。

[手指衛生のタイミング]

- ア 患者に触れる前
- イ 清潔/無菌操作の前
- ウ 血液/体液に触れた後
- エ 患者に触れた後
- オ 患者周辺の環境に触れた後

(2) おむつ交換等排泄処理の際の使い捨ての手袋、ガウンの着用

(3) 水回りの管理方法の見直し

- ア 定期的にシンク・トイレの清掃と消毒の強化
- イ 水道を使用した物品は、消毒又は乾燥してから使用

3 CRE感染症発生時の対応

「2 平時からの感染対策」に加え、接触予防策を徹底しましょう。

(1) 個人防護具の着用

- ア 患者や患者周辺環境に触れる時には手袋・ガウン（エプロン）を着用
- イ 個人防護具は退室前に外し、手指衛生を行う

(2) 患者ケアの環境

- ア 血圧計、聴診器、体温計などは患者専用にするのが望ましい
- イ 複数の患者に使用する器具は、患者ごとに必ず洗浄又は消毒する
- ウ 患者ケアは、非感染者の対応後の順番にする（入浴は最後にする等）
- エ ドアノブ、手すり、ベッド柵など高頻度で手が触れる場所は、0.1%次亜塩素酸ナトリウム又は70%消毒用エタノールで消毒する
- オ 個室対応が望ましい

4 添付資料

日本環境感染学会：CREの感染対策

[http://www.kankyokansen.org/other/edu\\_pdf/3-3\\_28.pdf](http://www.kankyokansen.org/other/edu_pdf/3-3_28.pdf)

5 参考資料

(1) 国立感染症研究所疫学センター：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/cre.html>

(2) 厚生労働省老健局：介護現場における感染対策の手引き第2版

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000814179.pdf>

(連絡先)

健康推進課保健予防係

TEL 25-9848 FAX 26-7733